

小山工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	人間と科学 I I (倫理学)
科目基礎情報					
科目番号	0095		科目区分	一般 / 選択	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	物質工学科		対象学年	5	
開設期	後期		週時間数	2	
教科書/教材	使用しない。毎回資料を配布する。				
担当教員	上野 哲				
到達目標					
1. 科学技術時代の到来に伴い新たな倫理基準が必要になった背景を理解できる。 2. 応用倫理学の諸分野が抱える課題について説明できる。 3. 研究倫理分野の問題解決策について、卒業研究に取り組む高専5年生として、説得力を伴う持論を展開できる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	科学技術時代の到来に伴い新たな倫理基準が必要になった背景を十分に理解できる。	科学技術時代の到来に伴い新たな倫理基準が必要になった背景を理解できる。	科学技術時代の到来に伴い新たな倫理基準が必要になった背景を理解できない。		
評価項目2	応用倫理学の諸分野が抱える課題について充分説明できる。	応用倫理学の諸分野が抱える課題について説明できる。	応用倫理学の諸分野が抱える課題について説明できない。		
評価項目3	研究倫理分野の問題解決策について、卒業研究に取り組む高専5年生として、説得力を伴う持論を十分に展開できる。	研究倫理分野の問題解決策について、卒業研究に取り組む高専5年生として、説得力を伴う持論を展開できる。	研究倫理分野の問題解決策について、卒業研究に取り組む高専5年生として、説得力を伴う持論を展開できない。		
学科の到達目標項目との関係					
学習・教育到達度目標 ① 学習・教育到達度目標 ② 学習・教育到達度目標 ⑥ JABEE (D)					
教育方法等					
概要	応用倫理学とりわけ科学技術倫理をめぐる理解を深めることで研究者/企業人としての倫理観を高めることに重点をおく。				
授業の進め方・方法	本授業受講者は以下の3項目に積極的に取り組むことが求められる。 (1) 講義内容の理解： 第1, 2, 4, 6, 8, 10, 12, 13, 14, 15週は授業担当者による講義である。講義内容を十分に理解することが求められる。 (2-1) 講義で扱った内容理解の深化と説明(1)： 第3, 5, 7, 9, 11週は受講者によるプレゼンを行う。プレゼンの評価に対しては、視聴する受講者によるピアレビューを採用する。 (2-2) 講義で扱った内容理解の深化と説明(2)： 受講者は全員第15講終了後に、教員が指定したテーマに関するレポートを作成提出する必要がある。受講者一人一人に異なるテーマを与える。				
注意点	特になし。 本シラバスの内容は2022年9月26日に修正した。				
授業の属性・履修上の区分					
<input checked="" type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	序論：科学技術時代の新しい倫理	左記内容を理解する	
		2週	生命倫理分野の問題（1）：生殖技術の発展と権利の問題	左記内容を理解する	
			生命倫理分野の問題（2）：日本の生命観と西欧の生命観		
		3週	生命倫理分野の問題（1）（2）に関する多面的検討	左記内容を他者に対して分かりやすく説明し、多面的に検討する。	
		4週	生命倫理分野の問題（3）：スポーツとドーピング問題 生命倫理分野の問題（4）：「性」と「身体」の問題	左記内容を理解する	
		5週	生命倫理分野の問題（3）（4）に関する多面的検討	左記内容を他者に対して分かりやすく説明し、多面的に検討する。	
		6週	生命倫理分野の問題（5）：「健康」と「標準値」の関係 生命倫理分野の問題（6）：脳死と臓器移植	左記内容を理解する	
		7週	生命倫理分野の問題（5）（6）に関する多面的検討	左記内容を他者に対して分かりやすく説明し、多面的に検討する。	
	8週	環境倫理分野の問題（1）：環境を「保全する」とは 環境倫理分野の問題（2）：「ハードゾーニング/ソフトゾーニング」	左記内容を理解する		
	4thQ	9週	環境倫理分野の問題（1）（2）に関する多面的検討	左記内容を他者に対して分かりやすく説明し、多面的に検討する。	
		10週	科学倫理分野の問題（1）：科学ジャーナリズム 科学倫理分野の問題（2）：エセ科学との対決	左記内容を理解する	
		11週	科学倫理分野の問題（1）（2）に関する多面的検討	左記内容を他者に対して分かりやすく説明し、多面的に検討する。	
12週		企業倫理分野の問題（1）：ホイッスルブローイング 企業倫理分野の問題（2）：企業の社会的責任	左記内容を理解する		

		13週	企業倫理分野の問題（3）：市民・消費者の社会的責任	左記内容を理解する
		14週	ロボット倫理分野の問題（1）：ロボットの倫理教育	左記内容を理解する
		15週	まとめ	左記内容を理解する
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	レポート	合計
総合評価割合	0	70	0	0	0	30	100
基礎的能力	0	20	0	0	0	10	30
専門的能力	0	20	0	0	0	10	30
分野横断的能力	0	30	0	0	0	10	40